日刊　昭和21年6月1日
（1）（除日曜）第三種郵便物認可

昭和24年2月28日
運輸省特認第338号

いわき民報

夕刊　昭和30年8月11日（木曜日）　第2829号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部電　381
広告専用電1222

古い信用と最新のモード
CHOYA
蝶矢印の
ワイシャツ
中野洋品店
平二〇電五三

戰後の十年

平復興事務所を二年間存續せよ

きょう四市代表出縣陳情

平復興事務所（所長鈴木荘氏）は八月一杯で平土木監督所に合併され、平土木事務所に改めるという県当局の意向がハッキリしてきたため平市始め常磐、磐城、内郷の各市がこれに反対、今十一日福県当局に次のような陳情を行った

復興事務所が土監に合併されゝば熟い人員も少くなるため都市計画事業、土地区劃整理事業の進捗がはゞまれるから、現状のまゝ約二年間に亘り名称は「平土地区劃整理事務所」かまたは「平都市計画事務所」として存続させて慾しいというもの、復興事務所の職員は十名のほか臨時雇二十名でこれが土監に合併され人員が減少すれば平市の場合は新川地帯の区劃整理、内郷市、常磐市は駅前の区劃整理、磐城市の場合も市内の区劃整理がそれぞれ遅滞するというもので、これを二年間存続させ平市を始め四市の都市計画事業を推進させようというもの

濱三郡が一致協力

金融公庫誘致に運動

平市では国民金融公庫支所誘致について、三十年度も引続き運動を展うことになり、今度は次のような陳情を行うことに決した

低品位石炭活用對策會

十九日開く

常磐総合開発期成同盟会では十九日午後二時半から地方事務所会議室で低品位炭活用対策懇談会を開く、常磐炭田の低品位炭活用につき同盟会では東京化学研究所にその研究を委嘱昭和二十七年以来研究を重ねて来たが、当日は片桐県開発局長始め専門学者の研究成果の発表と今後の対策につき協議する

技術の爲大連で抑留

四工員と脫出成功

鄉土で立直つた鈴木氏の話

万国に冠絶する国体を神州不滅と誇って来た日本人が始めてにはまいりましたヨ、二十二年三月に家族を先に帰して一カ月後、なめた敗戦の苦杯はあまりにも手ひどく国内は混乱を極めたが顔にはマスク、服装は背広服をなあれから十年目の八月十五日を迎える、海水の財産もそのまゝ一字通り身体一つの脱出をはかり二十二年四月漸く帰国することが出に身体一つで引揚げた人達の辛来た訳です、今考えても身振いが苦はさらに累積なものではあつしますよ、尤も当時日本が危いとたが、化学の研究と生産を信條ポンと貸してくれました、また平にこの十年間に立直つた大連引田松吉さんが無條件で五十万円を揚者鈴木新兵衛氏（五七）＝平市月見町五五、東北金属化学研究所長、引揚者石城支部長＝の懐古録は次のようなものである

☆…終戦の大詔を聞いたのは大連だつた、全然予期しなかつたとだけに一時放心状態だつたが、例え帰国出来なくとも人類の生存するの限り私の生産技術は有意義なものだという信念が私を立直してくれました、日体敗れたりと判つた翌日からは大連市内は共産化して無警察状態となつたが、私が前からやつていたライター石研究が認められて右の製造を依頼されたので御会安会だつた、しかし特殊反対に満洲へ逃げた日本人もいま市でも駐中時代の旧友藤橋五三郎さんの協力で建坪七十坪（敷地二百坪）の工場を買収することが出来ライター石の製造に着手した訳です

☆…当時は機械、燃料がなく製造に苦労しましたが大連から一日も早く引揚げたいと焦慮に駈られ石の製造を断念して帰国することに決したのです

☆…当時は機械、燃料がなく製造に苦労しましたが大連から一日も早く引揚げたいと焦慮に駈られ石の製造を断念して帰国することに決したのです

☆…そうですね、台湾や大連に残して来た礦物、土地は現在の物価に換算して一億円以上にもなるでしょうか、裸一貫で引揚げた私を助けたのは恩徳十年（昭和十七年）に満洲国の国務総理大臣張景恵から表彰された炭坑ガス検定用ライター石と同じ）ことが出来た訳です、製造当初は戦の苦しさをどうやら切り抜けることが出来たといえますかネ

☆…終戦のドサクサに国民の大半いわゆる私達と従業員家族六十名は外貨によつて生活している訳ですから国内において南米移民と同じといえますかネ

社員募集

社屋改装、業務拡張のため社員募集す
▽年令二十二―五十九才まで▽男女を問わず▽学歴旧制中卒以上の方▽有夫の方の内職を認めます▽待遇その他委細面談の上決定す
▽希望者は履歴書を送られたし、面接日を通知します

千代田生命平支部
平市大町六（消防署前）電二七七

常磐市會

十七日開く

常磐市定例市議会は十七日午前九時から湯本公民館で開くことに決定した、懸案の第二小学校の改築

納組長會議

勿來市で開く

勿来市では旧町村単位に納税組合長会議を八日から十二日まで各地公民館で開催、市役所より労賃助役、田辺財務課長が出席し納税奨励規程の改正並に納税組合未加入者勧誘、課税照等について内容の説明に当っている、なお組合数は植田四四、山田三三、錦三三、磐田四五、川部二一計一七六

天気予報（十一日）

「今晩」北よりの風曇時々晴
「明日」北よりの風一時南東の風朝のうちは霧が多いが次第に晴れてくる
海上は、今晩明日とも多少風波がありまだウネリがある

社員募集

水産業▽▼経営＝県内二千九百余は総て漁獲高一千五百万円に対する（浜通りで占める）▼従業員＝二千五百万円（三十四％）起債補助の見通しがつかないので【食出】▼県内＝二百四十四億九千五百万円（普通銀行、信用金庫今議会の提案は四件であり、九月相互銀行）浜通り九十五億四千八百万円（信用組合、商工中金、国の臨時議会に提出されることになり民金融公庫、信用保証協会）三十九％

【預金】▼県全体＝二百七十四億五千三百万円、浜通り九十二億八千五百万円（三十四％）

【鉱業】▼数＝県内二〇〇（浜通りで占める）▼出炭量＝三百万屯（年）▼金額＝九十億円

【水産業】▼経営＝県内二千九百（浜通りで占める）▼従業員＝三千六百万円

【工業】▼工場数＝県内六、二〇〇、浜通り二、四〇〇（三十八％）▼従業員＝県内六〇、三〇〇人（浜通り二六、一〇〇人（四十三％）▼生産額＝県内四百八十五億二千三百万円、浜通り二百三十五億千二百万円（四十六％）

【商業】▼数＝県内二七、九〇〇、浜通り九、三〇〇（三十三％）▼従業員＝県内六二、六〇〇人、浜通り二七、九〇〇人（四十四％）▼売上げ（月）県内五十二億八千六百万円、浜通り十六億六百万円（三十％）

【工業】▼工場数＝県内六、二〇〇、浜通り二、四〇〇（三十八％）▼従業員＝県内六〇、三〇〇人（四十三％）▼生産額＝県内四百八十五億二千三百万円、浜通り二百三十五億千二百万円（四十六％）

【商業】▼数＝県内二七、九〇〇、浜通り九、三〇〇（三十三％）▼従業員＝県内六二、六〇〇人、浜通り二七、九〇〇人（四十四％）▼売上げ（月）県内五十二億八千六百万円、浜通り十六億六百万円（三十％）

電話新設のお知らせ
電話（平局）二二二〇番
宮澤會計事務所
宮澤勝三
平市八幡小路七五

スマートボール局前ホール
女子事務員
▽一名至急求む▽商校卒▽旧平市内居住者
姓名在社（二八）

賣出期間　8月3日より16日まで
東京大歌舞伎來平！
沢村宗十郎　中村福助
一行觀劇招待賣出し
☆100圓ごとに補助券1枚呈上
☆1000圓ごとに（補助券10枚）觀劇御招待
☆補助券10枚の方は平局前根本園茶店にて必ず招待券とお引替願います
◎御贈答用品お求めは絶對に今です
◎他店廣告で賣出しの宣傳値より安く安心して買える四丁目
於8月23日　平市公會堂
お買物は平市　四丁目商店會

台風對策はゼロ

要復舊ヵ所四十九

金が無いと陳情も全く無効

「七夕だ、盆踊りだ」といっているうちにまた台風シーズンが近づいたが、石城郡の台風対策は完璧か？と安心したいところだが全くゼロにひとしいことが判った

昨年九月の十四号台風に郡下の河川、橋梁、道路は完膚なきまでにやられその損害一億といわれ、当時関係官庁、町村では石城郡災害復旧対策本部なるものを設け災害復旧資金の獲得に躍起になったものだが、いつか同本部も解散してアレから一年また台風シーズンを迎えるが、昭和二十五年からの台風災害に年々増加するばかりの未復旧個所は県土事関係河川四十一九件で復旧に要する工費四千九百八十五万円、町村土事関係（国庫補助）河川十六、道路六、橋梁六砂防一、計二十九件で工費二千百万円、合計すれば実に七十八カ所が未復旧のまゝ放置されている有様で、今年もまた台風の被害個所が増える許りの手放し状態にあるこれら未復旧の原因は「金がない」を薬剤撒布した、衛生区長は塩己定さん

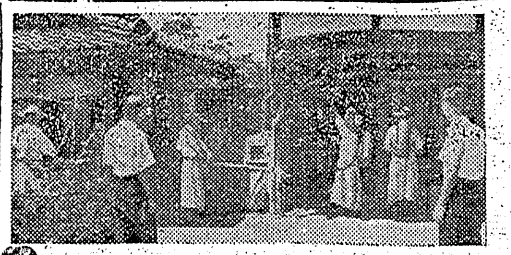
★—須藤衛生課長らはこの事情を知つて感激、十日現地を視察し督励した〳〵働き者で清潔な盛民〳〵として北白土民の評判は良い

どの家も清潔

北白土の衛生活動

★—平市衛生課では「ハエ」「蚊」かれ、揃いの白衣をまとつて各戸の炊事場、便所、馬小屋、下水等「の撲滅運動を目下強力に各区を通じて推進しているが、北白土部落では市の指示を受ける前に自主的に部落民たちが協力DDT、石灰、リンデン、ジクロンなどの薬剤を各戸に撒布、模範的部落として注目されている

★—北白土の戸数は百五戸、人口も五百人程度でこの部落はどこの家庭も清潔な感じをもつたもので会長山野辺慧一さんらが終心に環境衛生に力を入れ、各戸では噴霧器一コずつは所有しているので各組（七組）ごとに二台ずつ撒粉器を購入、八人の部落民が二班にわ



【写真は自主的に薬剤撒布する北白土民たち】

金山住宅も水飢饉

給水で地元から陳情

勿来市営住宅中植田町金山地内の二十六戸の市営住宅地帯は高台地のまらぬ様に万全の策をとつてはいるが、市営住宅の人々は一ぺんに運ばず朝昼晩の三回に亘つて運んで欲しいと十一日朝代表者十数名が市役所に押しかけ陳情した、なお市役所では今後毎日消防自動車を運転する事は不可能で金山の沢地帯に本格的に井戸を掘さくする事に調査を進める事になるらしい

の関係井戸を掘さくしても湧水なく、従来沢地帯からポンプで水を揚げ辛うじて飲料している始末、殊に今年は猛暑に見まわれ肝心の沢の水も愚に委せぬ状態となつたので市役所では消防自動車で植田の鈴酒店から酒樽二本に井戸水を詰めて毎日三回宛運び生活にと

賑う体操と音樂

常磐市出身者

學生會結成

夏祭り第五回体操と音楽の夕は十一日午後一時と夜六時の二回に亘り平市公会堂本館に開催された、演技は市内、高、中、小の各校代表が演ずる学校ダンス、体操、合唱、民謡、独唱、リズム運動、軽音楽、器械体操など二十九種目に亘るが元日米対抗選手梁谷二三氏らの模範演技は好評を呼び、入場者は児童生徒らで満員だつた

常磐市出身の大学に在学する学生たちが十日午前十時から湯本公民館で学生会結成の発会式をあげた役員を左の如く決めたが、主旨は会員の自治活動を促進し相互の親睦と協同互助をはかり、会員の健全な知識教養の向上を目ざしつゝ地域社会の文化的社会的発展に協力貢献することを目的とするものである

▼会長上川友好（東大）▼副会長佐藤健一（東大）▼菅昭上川良一（早大）熊田和恵（共立女子大）▼企画御代盛実（明大）堀越市第二管区海上保安本部警備救難課長）▼会計高橋良英（明大）越智啓子（日本女子大）

磐城文化連盟役員決る

磐城市文化連盟結成大会は九日夜小名浜公民館で開き規約を設定のち役員の選出を行い理事会議長に草野道平（小名浜社会人クラブ会長）事務局長に吉田幸（市教委社教課長）の両氏を決めた

市内の各種文化団体間の連絡調整、相互の親睦をはかり綜合的な市民文化の育成向上にきするのが目的、当日現在の加盟団体及び理事は次の通り

小名浜写真作家クラブ（志賀文夫）八潮会（石井芳江）はまゆうサークル（高木康男）劇研はざくら（深谷清三）日曜画家クラブ（馬上善男）音楽鑑賞会はまなす（高田久一郎）小名浜社会人クラブ（草野道平）磐城俳句会（蛭田親）日米棋院磐城支部（井上友一郎）

【写真は草野理事会議長】

四時川用水路完成記念碑

四時川土地改良区では灌漑用水路の補修工事中であつたが完成を見たので錦町愛護所附近に工費千万円を投じ記念碑を建設し七日除幕式を挙げた、土地改良区理事長は高木武一郎氏

新作盆踊り

あす講習會

磐城市教委事務局では新作盆踊りがなかなか好評を呼んでいるのに応え十二日午後七時より普及をかねた指導者講習会を小名浜第一小学校々庭で開くこととなつた、一般市民多数の参加を歓迎している

未亡人會を勿來で統合

統合を叫ばれていた勿来地区未亡人会は九日勿来市福祉事務所の斡旋で市役所で統合発会式を挙げ規約及び正副会長を左の通り選任した

▼会長成清政子（植田）▼副会長正木登子（錦）本間タイ（山田）金成シン（鎌田）菅貴フク（川部）

小濱の祭禮

勿来市植田町小浜の愛宕神社祭礼は十一日盛大に催され部落民は多数参拝し豊穣を祈願した

五市の都計

あす開く

十二日磐城市役所で開かれる五市綜合都市計画委員会には勿来市より吉川市長、菅野助役、猪狩土木課長、山崎議長の四氏が出席する

狐磯燈台の基礎成る

四倉町漁港委員会（委員長佐藤仲氏）では去る七月上旬から同港突端にある狐磯に点滅式燈台（工費二百五十万円）の工事を急いでいたが、このほど高さ九米直径二米の近代的な燈台基礎工事が完成、塩釜市第二管区海上保安本部燈台係員河野氏が来町して検閲した結果、無事通過したのであとは電燈設備を待つばかりとなつた、県漁連から燈台までに電柱のかわりにポール十本の建柱のために狐磯燈台から青い色彩を八方に亘つて放すのは本県沖合がサンマ漁となる十月中旬ごろになるだろうと岡町漁港事務所では語つている

急募
経理擔當者若干名　舊制商業學校卒業程度
送付面接日御通知す　履歴書御
勿來市　ホシ友醬油店
（電話五四番　三〇五番）

七夕祭クイズ當選發表
★ゴム会社名＝日本ゴム、三馬ゴム、八馬ゴム、長浜ゴム、藤倉ゴム★応募多数のため厳正抽せんの結果左の三十名様を当選と決定しました。

平市白銀町　菅野　光夫
三丁目　今泉　徳子
北目町　福島　建士
研町　小野瀬ハル
北白銀町　星　克宗
願宣町　石井　英昭
〃　一丁目　くすも田昭仁
片寄　哲
才槌小路　鈴木　良平
大浦村　愛川ゑよ志
紺屋町　松崎　隆一
仲町　猪狩　正昭
下河原　羽梁　孝
柳町　浅田美代子
才槌小路　鈴木ミヱ子
北目町　馬目　京子
胡麿沢　菊地ゆき子
才槌小路　折笠孝太郎
六間門　高橋紀世枝
四軒町　佐藤　好子
田町　関根恵美子
愛川町　高橋喜代士
中町　佐藤　泰三
久保町　大橋　敬子
遊野町　生田　目
好間村　熊谷　英子
内郷市小島町　塚本八重子
勿来市　幾　民雄
勿来市　赤津　寧子
勿来市　渡辺　勝医

大横山萬藏商店
平市三丁目　鶴九四番

仏壇仏具
橋本屋
平市新川町一九四八

DPはタナカ
新しいDPは富士

かっぽう開花

肉の御用は
三二三屋へ
TEL・323

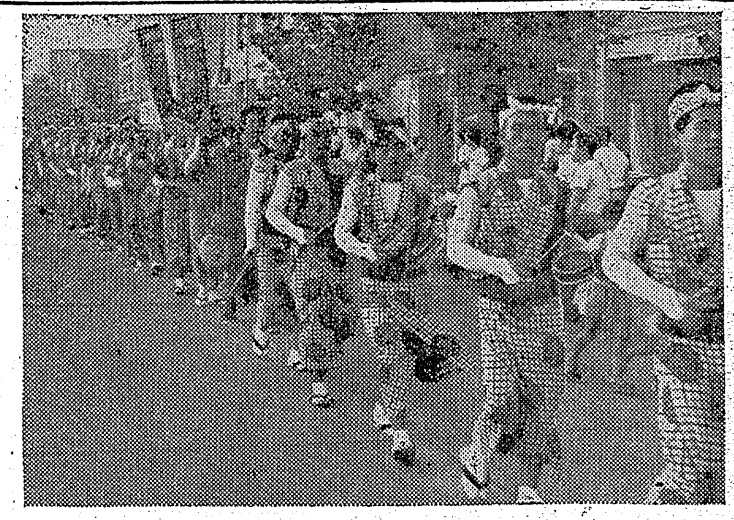
サービス抽せん券付
納涼ホタル狩と輕音樂の夕
★日時　八月十四、五日午後七―十時
★場所　平市紺屋町広場（聚楽館前）
★サービス期間　八月五―十三日
★参加商店にて抽せん券進呈中
★一等二本ベビータンス以下四等まで賞品山積
当日その場でお引替
主催　平市青年会議所
後援　平市西部連絡協議会
協賛　久保町各商店
長橋町各商店
材木町各商店
研町各商店
紺屋町商店街
鍛冶仲各商店
才槌小路商店
八幡小路商店
一丁目商店街
二丁目商店街
三丁目商店街

もう立秋です！
きつとあなたのお氣に召す
今秋流行のトツプを行く…
新柄第一回作品
伊勢崎めいせん
千代田御召
1000反展示即賣會
夏もの特價販賣
何本御参考のため是非御覧下さい
三井呉服店
平・三電284　1248

30,000人のお客
★全店中元大賣出し★
品ス揃ピ品の一景
独み店濃の当夕
一番お客の入る店ニッコー
一番よく賣れる店ニッコー
七夕市につぐお買徳品の第二弾二重景品付
半値の一例
夏の新柄スカート【各種豊富】
１２００円を　６００円
５００円を　２５０円
夏の新柄ワンピース【各種豊富】
１４００円を　７００円
１１００円を　５５０円
夏紳士ネクタイ　５００円を２５０円均一
紳士本革バンド　１２００円を６００円
〃　４００円を２００円
紳士高級ポロシヤツ　５００円を２５０円
〃　ウーリー柄靴下２００円を１００円
その他お買徳品の一例
婦人夏物純綿白足袋（二足組）
１７０円を１２０円
大人キヤラコパンツ　７５円を４５円
お子様リツプルスカート１５０円を９５円
〃40ブロード開襟シヤツ１８０円を１３０円
〃　ブラウス　１２０円を８５円
紳士婦人靴下（三足組）１５０円を１００円
綿ポプリンブラウス　１５０円を１００円
大人ベンベルステテコ　１５０円を１００円
婦人メリヤスズロース　二枚組
２２０円を１５０円
人絹トリコツトシヨーツ１３０円を８０円
爽用マルセル洗濯石鹸
（八コ包白亀）（七コ包白丸）１００円均一
その他お買徳品山積
絶對お買徳品
（御一人様一枚限り）
１０００円の極上毛布を　５９５円
１３００円の優良毛布を　７９５円
（今冬の毛織物相場は昨冬の三割高の予想です）
２００円の敷布を　１４５円
５００円の高級開襟シヤツを
３９５円
５００円の高級ブラウスを２８０円
東京本染ゆかた定價の三割引
夏純綿生地定價の二割引
紳士高級ワイシヤツ
定價の三割引
紳士・婦人・お子様用肌着は日興本社が真心こめて作りました優良品を本当にお安くお願い致して居ります
全店東京製品
良い品を本当にお安く
ニッコーデパート
平駅前（電）平656　1764
12日　13日　14日　15日　16日
御夕食後のひとときを一家揃つてたのしいお買物。六時以降九時迄お買上げの方におみやげ進呈。

中山チーム優勝

じゃんがら競演會大賑い



【写真は市内行進するじゃんがら競会長賞、商工会議所会頭賞などおくられ午後十時終了した、ラジオ福島はこの模様を録音におさめ十四日零時十五分から放送する

夏祭り第六回じゃんがら念佛コンクールは十一日午後七時から平市三十米道路南端広場の特設舞台で十チームが参加（二チーム棄権）して行われた、競演前には出場チームが平市公会堂日本間から市内を練りあるき通行人の注目をあびた、競演は各チーム十分間ずつ行つたがさしもの広場も約二万五千の観衆で一杯、迷子十八件も出るという最近にない人出だつた、審査の結果一等は中山青年会チームと決まり、昨年度優勝した内郷御台境青年会チームはずれずれのところで二等一席におちた、いずれも揃いの浴衣に絞巻、たすきがけの姿だつたが特に御台境チームはコバルト色の綺麗なスタイルで一きわ目立つた、参加チームは昨年の十八チームよりぐつと減つたがこれは盆村の不況が祟つて身仕度が整わなかつたほか優勝候補チームは大体毎年同じチームが期待がかけられ、優勝チームは各方面に招待され演技も上達しているので気おくれもあつたことなどが原因しているが、今後一等に入つたチームは特別出演とさせたらどうかとの声も多かつた、優勝した中山チームはこれで二度目、朝日新聞社寄贈の優勝旗のほか商工祭典協賛会長賞、商工会議所会頭賞などおくられ午後十時終了した、ラジオ福島はこの模様を録音におさめ十四日零時十五分から放送する

審査長鈴木貢次郎氏談＝今年のじやんがらは技術的に目ざましい進歩のあとがみられた、審査もそのため技術的に伯仲しているので大変ムズかしかつた

▼一等＝平市中山青年会
▼二等一席＝内郷市御台境青年会
▼二等二席＝好間村小谷作青年会
▼三等一席＝平市菅波念佛保存会
▼三等二席＝平市上平窪青年会
▼三等三席＝内郷市御厩青年会
▼次席＝平市赤井諸荷青年会、常磐市磐崎青年会、平市上荒川青年会、好間村北好間金剛院青年会

誘い出し強奪

強盗容疑で捕まる

磐城署はかねて強盗容疑で指命手配中だつた東京都足立区北千住生れ住所不定無職吉田弘（三）を十日夜亀有署で逮捕し十一日未明身柄を同署に移送した、近藤は去る七月二十九日午後六時ごろ常磐線泉駅待合室で上り列車待合中の勿来市大字大高字高松八七（三）を「植田駅まで来ないか」と誘い出し強奪逃走中だつたもの

かばやきやながわ

壽司のにぎり

才槌小路店　電一〇二一
紅小路店　電一四五六

北洋で喜久丸が坐礁

ソ連側に救助方依頼

十一日午前十一時ごろ磐城市大字江名字北町八五坂本喜代松さんが小名浜海上保安部を訪れ語るところによれば、坂本さんが貸した北海道厚部郡沙原村河村鶴松さん所有の四十七度以南サケ、マス漁船第五喜久丸（三六トン）＝船長磐城市江名黒川渭雄さん（三五）ら三十一名乗組＝が九日午後十時四十分ごろソ連領中部千島列島ウルップ島北端で坐礁した、このため第一管区海上保安本部では巡視船くだいおう〃を現場に急行させるとともにソヒエト側に対し救助並びに保護方を依頼連絡したということだが、小名浜海上保安部には十一日正午現在何らの公電が入つていないため詳細不明、石城郡関係の乗組員十一名は次の通り

▼船長黒川渭雄（三四）（船長以外、性犯罪を防ごうと夜間女の一人歩きのおそろしさや、盗難予防の心得などの写真を展示して一般に夏季防犯の注意を喚起している【写真は駅前の展示会風景】

防犯寫眞展

平驛前で開く

連日のうだるような暑さに自然と気持もゆるみがちで、とくに婦人は薄着が多いので痴漢が横行するおそれがあり平署では、平駅前にて十一日午前十時ごろ平南町二七ミハト飲食店にしのび込み現金四千円と女用化粧品千四百円相当を窃取したものだが、昨年もアキ巣など四十数件を働き内郷署に検挙されたことがあるというしたゝか者で、取調べにさいしても仮名を使つて係官を手こずらせている、中学三年生だが学校には全然いかず、頭にはパーマをかけていて一見十八、九才に見せかけている

四千圓盜む

少女を檢擧

十一日午前二時ごろ住居不定本籍内郷市宮平太郎三七少女某（三）を窃盗容疑で平署自石刑事が逮捕取調べているこの少女は十日午後十時ごろ平南町二七ミハト飲食店にしのび込み現金四千円と女用化粧品千四百円相当を窃取したものだが、昨年もアキ巣など四十数件を働き内郷署に検挙されたことがあるというしたゝか者で、取調べにさいしても仮名を使つて係官を手こずらせている、中学三年生だが学校には全然いかず、頭にはパーマをかけていて一見十八、九才に見せかけている

▼…いよいよ盆踊りが近づいたが、例によつて方言の〝い〟と〝え〟を間違えた唄になやまされることだろう▼…例えば平市公民館編「たいらの唄うた」という美しいパンフレットが新調折込みになつてきたがその中でも〝い〟と〝え〟を間違えている▼「揃え浴衣」とあるべきを「揃い浴衣」とあるべきでお役所自らが間違いの模範を示したというところか

高校バスケット大會

十四、五日磐高で開催

▼平二商―内郷高▼平商―磐農と小名浜の勝者▼磐高は不戦勝で準決勝で対戦する【女子】▼磐女商―小名高▼平商―湯本▼内郷高は不戦勝で準決勝で対戦する

必らずよろこばれるお中元

藤越

小名浜
平市

夜間營業八時半迄

僧用ある謙遜の儘秀な品を先様がえらぶことの出来るのが商品券。何を贈つたらよいかなどとお迷いになることありません。受けた先様が必ずよろこばれますから、商品券をお中元にどうぞ。

㊟商品券（額入）
壹百円より調製

夏盛り三十年昭和　暑中御伺い申上ます

勿來市役所

市長　古川傳一
助役　芳賀三男
收入役代理　古川二郎
總務課長　吉田信雄
各課職員一同

勿來市議會

議長　山崎登
副議長　北郷徳助
總務委員長　渡辺武之進
財務委員長　関根忍
厚生委員長　秋山常衛
文教委員長　伊藤日出男
土木委員長　三国けん治
農林委員長　山野辺良助
商工水産委員長　渡辺兵左衛門
水道委員長　森合芳男
労働委員長　荒川彦市
議会事務局長　赤津幸之亮
外議員一同
事務局長　楢田昌男

勿來市教育委員會

委員長　赤津修一
教育長　阿部忠次郎

勿來郵便局長　赤津作衛
勿來驛前同　星勝美
勿來酒井同　園部茂
石城川部同　小野光輝

植田郵便局
局長　星克夫

植田錦醫師団

くすりの
安田屋
植田町電話二三〇番

吉野材木店
植田町佐糠電二九番

植田町消防団
團長　鷲文治
副團長　蛭田勝雄
副團長　坂本喜

株式會社　關彰商店植田支店
電話二六一番

文房具店　東京堂
植田町電話二四一番

平地區米穀卸賣協同組合
植田營業所
植田町金畑電話二六七番

田人村役場
村長　逸見方吉
助役　小野猪太郎
收入役　蛭田亀次

植田町商工會
植田町専門店會

いわき民報
（可認物便郵種三第）1部5円　1カ月100円　金曜日（休刊日除く）定価

郷土の偉人を顕彰せよ

大塚三善

昨年十一月いわき民報社編集長田原鏊氏は本紙に標題下で縷々敷言を呈された記事は当時読者各位の前にお目見した事であったろう又これと前後して庚寅会（これは富て教育界に挺身した有志のもの、旧交を温め乗てわが郷土をより住み良い郷土へと念願するさゝやかな集り）会長小野金太郎氏と余は同会を代表して市当局に申し入れたのであつたが未だその機が熟さないものと見えてその朗報には接していない。幸いに郷土の有志や尼子会など郷土文化事業の促進に尽瘁し居らるゝことは真に敬服するところであります。

白井遠平翁傳、天田愚庵の父母妹、常磐炭田史などの出版が相前後して現われ又近くは常磐炭田の恩人片寄平蔵翁の百年祭は選挙除幕の愛と共に行われ沢村勝弥公自刀の現場に標識を樹てられたなど一にこれ等偉人高徳の士を景仰するの念から出発された潮に欣ばしい事象であると思う、由来わが磐陽の地は偉人傑士を輩出した、いわく磐主安藤対島守冠里、伯天上人、原采山師など何れも郷土の生んだ偉才高徳者である、今これ等の方々の事績を明かにし景仰することによつて世道人心を浄化し強化し行くことはわが郷土の個性から眺めても刻下の急務でなかろうか、国家百年の計とは言わずと今つ如何にして現在及び将来の青少年教養の上に良い感化を与えしめるかに腐心しあるを見てうたた他山の石の感なきを得ない。

（平市城北）

わく磐主安藤対島守冠里、伯天上人、原采山師など何れも郷土の生んだ偉才高徳者である、今これ等の方々の事績を明かにし景仰することによつて世道人心を浄化し強化し行くことはわが郷土の個性から眺めても刻下の急務でなかろうか、国家百年の計とは言わずと今つ如何にして現在及び将来の青少年教養の上に良い感化を与えしめるかに腐心しあるを見てうたた他山の石の感なきを得ない。

（平市城北）

い郷土を実現する見地から一層そ同町田戸犬突不動尊内で「三五七、甘酒に乗らぬ様御注意申上げますの切なるものがある、ここにこれ等偉人高徳の士を顕彰し最も感激性に富んでいる青少年層に向つてこの意味的な一石を投入さしたいものである。

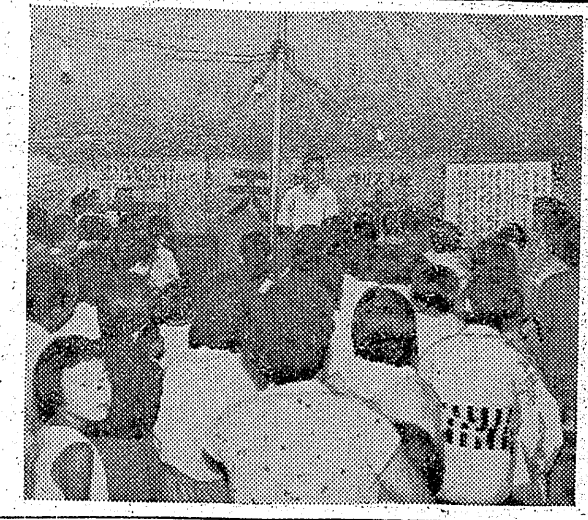
先覚者福沢諭吉翁や新島襄先生に就いてはもはや衆知のことだからこゝに多言を要すまい、近く本県人の偉才として会津猪苗代の生んだ野口英世氏〇二本松藩出身の朝河貫一氏にあつては郷土人が如何にしてこのすう高で偉大な人格を偲び且つ如何にして現在及び将来の青少年教養の上に良い感化を与えしめるかに腐心しあるを見てうたた他山の石の感なきを得ない。

（平市城北）

写会を行う

天幕傳道會

毎夜賑う



【写真は天幕傳道会に集まつた市民たち】

☆…キリスト教の三つの綱領、神、つているが、夏休み中とあつて女児、教についてキリストの愛を広く一般に宣教するため平自由メソジスト教会では八日から十四日まで毎晩午後七時半から平市渡辺小路、磐崎入口に特設の大天幕を張り「キリスト教連続天幕傳道会」を開催している

☆…講師は県磐城農園長大河内一郎氏、ネブラスカ洲カーウボイ宣教師エドワード・スカドラー氏、平自由メソヂスト教会牧師服部嘉明氏ほか大阪キリスト教大学生チームの人たちが当り、連日附近の市民たちや信仰者たち六、七十名が詰め赈わつている

☆…子供会の方は午後四時から行

十六ミリ映畫會

磐城市小名浜公民館主催の納涼十六ミリ映画会は次の日程で毎夜七時より開く、上映フイルム「スクエアダンスを踊りましょう」「吾が子と共に」「水難と斗う」「公衆道徳」入場は無料

▼十一日窪岡公民館▼十二日小名浜漁協組▼十三日下神白三

假裝コンクールも

常磐炭鑛の盆踊り

常磐炭鉱の恒例の山の盆行事は来る十四、十五、十六三日間を全山休日として行われるが盆踊りは左の六カ所で催す

▼湯本鉱は第二小校▼萬島鉱は第二小校▼内郷鉱は二中校▼磐崎鉱は旧校舎グラウンド▼川平坑は川平グラウンド▼平発電所は広場

十四日は午前二時まで、十五日午後十二時まで踊り、十六日は休業日となつている、もし十四、五両日が雨天の際は十六日に午後十二時まで踊りが行われる、しかし十四、五のうち一日でも踊りがあつた場合は十六日に踊りは行わないなお十四日には各鉱とも仮装コンクールが催される

學校林の下刈り

内郷市内町小学校ではこのほど坂本校長初め二十名の教員が鎌をとり馴れない手つきで学校林三反歩の坡刈りを行つた、今年で四回目だが刈つた草は堆肥として附近の農家に無償で進呈する

四倉映畫會

四倉町公民館では農村の情操教育を図るため十四日午後八時から

盆踊り撮影大會

十六日夜三回に亘り

既報＝平市田中カメラ店主催の盆踊り撮影大会は十六日午後九時半なお発火前には一秒おきに二回檜の篝燎を点滅してカメラマンにシヤツター準備を知らせ、二回目の点滅と同時にシヤツターすればよい

いわき俳壇

青柿會　八月例会

波邊何鳴選

雨竹

白玉に幼な思い出ともども

松葉牡丹色とりどりに判所

咲き溢つる松葉牡丹に風もなし　葉子

松葉牡丹小砂利の隙に溢れ咲く　ひろき

蝶子

夕凪を浮べてプール真青なり

白玉やグラスの青のみすみすし

庭毎の松葉牡丹や海鼠こめて

跳躍の子らつぎつぎにプール飛く

灯のどよくプールのライン白く澄む

奥都子

ターンする波がプールの壁をうつ

乾ききる地面にあふれた松葉牡丹

松葉牡丹小砂利の隙に溢れ咲く　ひろき

プール脚少年下駄を脱ぎ捨え　よしを

白玉のグラスの底の砂糖かな　凪政

白玉の玉の大いさほゞ同じ

松葉牡丹石垂鉢を根まれをり

松葉牡丹庭の巨石の熱きまゝ　しのぶ

庭側に松葉牡丹の真紅

白玉をのこして氷とけにけり　一奥

日照雨松葉牡丹をうちて過ぐ

白玉に思い悲しきことはかり

波の音松葉牡丹に今日遠し

夜のプールたゞ月光を浴わす

白玉やすこし斜のに麥藁子

何鳴

白玉をふくめば微笑おのずから

しつ雨いま松葉牡丹をはぶらしむ

競泳の波ひらがりて亘きプール

白玉の溶けて溺りしグラスかな

白玉のその白妙のめでたよ

相笑みて親し白玉ふくみつゝ

森のかげはやタづけるプールかな

白玉をふくみて炎す脇かな

波の旁と松葉牡丹を曽まぶし

クールの波相搏てるプールかな

夜のプールの青き孤灯が片側に

今晩のラジオ

11日

◇NHK一三六〇KC

六・四五（郡）四局通信
七・〇〇 浪花演芸会
八・〇〇 歌の花ごよみ
八・三〇 「由起子」津島恵子
九・〇〇 のんきタクシー
九・四五 時の動き
一〇・一五 邦楽名曲選 清元
一〇・五〇 納涼お国めぐり
◇ラジオ福島一〇六〇KC
六・一五 民謡風土記
七・三〇 日東紡アワー
八・〇〇 タレントスカウト
八・三〇 浪曲玉手箱
九・〇〇 平凡アワー
九・三〇 郷土歌手ヒットメロディー・盆名作アルバム

今週の映画

◇平市　十―十六日
★平館　夜七時二十分
お艶さんの求婚　修禅寺物語
★民劇　夜六時五分
荒原の疾走　ブラボーとりでの脱出（十五日まで）
★聚楽館　夜六時二〇分
紫の平原　舞衣
★ひかり座　夜六時三五分
ドン・カミロ頑張る　永遠の海原（十五日まで）
★世界館　夜六時五分
森繁のやりくり社員　幻の馬
★東映劇場　夜六時五〇分
ふり神伏鬼鯨　復讐の七仮面
◇磐城小名浜十一日まで
★金星座　夜七時
長い灰色の線　この世の花
（十六日まで）
★磐城座　夜六時一〇分
心に花の咲く日まで　叛逆者
★金美館　夜六時五分
中野源治の冒険大会　彼境への進撃

暑中御伺い申上ます　昭和三十年盛夏

参議院議員
木村守江
四倉町

四倉町専門店會
会長　寺門彰
専務理事　鈴木仙太郎

四倉町教育委員會
委員長　小林豊広
教育長　渡辺三平

菅波内科
菅波茂
四倉町本町六三
内科　小児科
レントゲン科
性病科

株式会社
佐藤呉服店
内郷市宮町
金坂通り
電（平）1558

四倉町金融団
平信用金庫四倉支店
支店長　平井鉄三郎
大東相互銀行四倉出張所
所長　涌井勇司
福島相互銀行四倉出張所
所長　大河原栄
七十七銀行四倉支店
支店長　斎藤清

平地區米穀
卸賣協同組合
理事長　片寄保

衛生第一
アイスキャンデークリーム
辰巳屋
植田町下町魚庄隣

バイシ、芝浦、福助、日産、精工舎
東洋、ミハト、トヨタ、各種ミシン販売
飯塚ミシン商會
植田町　電話二六八　二〇七

映畫常設
菊多館
植田町電話七七番

植田農産物市場
植田町八幡下電四〇

秋山材木店
植田町電話六二番